

令和5年度

(令和5年4月入学)

お茶の水女子大学 学生募集要項

(一般選抜 前期日程・後期日程)



お茶の水女子大学

Ochanomizu University

〒112-8610 東京都文京区大塚2丁目1番1号
TEL 03 (5978) 5151,5152 (入試課)
HP <https://www.ao.ocha.ac.jp/>

※新型コロナウイルス感染症の影響により、入学者選抜方法等を変更することがあります。
その場合、上記ホームページにて周知しますので、随時確認願います。

※「一般選抜の追試験受験申請」については別紙補足事項を必ず確認願います。

目次

I	入学者受入方針	1
	1. お茶の水女子大学の教育とアドミッション・ポリシー	1
	2. 学部のアドミッション・ポリシー	1
II	入学者選抜方法	2
III	学科のアドミッション・ポリシー	3
IV	学生募集要項（一般選抜）	9
	1. 学部・学科別募集人員	9
	2. 出願資格	10
	3. 出願手続	10
	(1) 出願期間	10
	(2) 出願方法	10
	(3) 出願について	10
	(4) 出願書類等	11
	(5) 受験上・修学上の配慮の事前相談について	12
○	インターネット出願の流れ	13
	4. 大学入学共通テストで受験を要する教科等	17
	5. 本学の入学試験	20
	(1) 個別学力検査日	20
	(2) 個別学力検査教科・科目等	20
	(3) 試験教科・科目別配点（全学部共通事項）	22
	(4) 入学試験時間割	24
	(5) 実技検査	26
	6. 入学者の選抜方法	28
	(1) 入学者の選抜	28
	(2) 選抜方式	28
	(3) 2段階選抜	28
	(4) 無資格者の取扱いについて	28
	(5) 個別学力検査等の受験について	28
	(6) 個人情報及び試験成績の利用について	28
	7. 合格発表	29
	8. 入学手続等	29
	9. 追加合格の通知	30
	10. 「大学案内」の請求について	30
	11. 入試課ホームページについて	31
V	入学試験成績等の開示について	32
VI	お茶の水女子大学入学資格個別審査について	33
VII	令和6年度一般選抜に関する変更の予告	33
VIII	その他の案内	37
	1. 奨学金	37
	2. 入学料減免と授業料減免	37
	3. 学生寮	38
	4. 入学料・授業料減免と学生寮の申請書類について	39
	5. アパート等の紹介	39
○	お茶の水女子大学交通案内	40

I 入学者受入方針

1. お茶の水女子大学の教育とアドミッション・ポリシー

お茶の水女子大学は、学ぶ意欲のあるすべての女性の真摯な夢の実現の場であることを使命とし、総合的な教養と高度な専門性を身につけた女性リーダーの育成を目指しています。そのため、21世紀型文理融合リベラルアーツ教育、専門教育における複数プログラム選択履修制度、およびキャリア教育を3つの柱とする教育を展開しています。複数プログラム選択履修制度では、将来のキャリア展望や関心に応じて、専門教育プログラムを履修します。第1のプログラムとして、所属する学科の開設する「主プログラム」を履修します(必修、入学した学科のものを選択)。次に第2のプログラムとして、専門領域に深く特化する「強化プログラム」、他の専門領域を横断して学ぶ「副プログラム」、領域融合型・学際型の「学際プログラム」のいずれかを選択し履修します(選択必修)。また文教育学部芸術・表現行動学科及び生活科学部食物栄養学科では、それぞれの教育目標にそった4年一貫の「専修プログラム」を設けています。各自の目的や関心にそって、主体的に学修することができます。

お茶の水女子大学では、すべての女性が年齢・国籍などにかかわらず自立した女性として、生涯にわたって多様に活躍できるキャリア形成の場を提供しています。知的好奇心と探究心を抱き、勉学意欲に富んだ学生の入学を期待しています。

2. 学部のアドミッション・ポリシー

◆ 文教育学部

文教育学部は、人間と文化と社会に迫る、人文・社会系の総合的な学部です。人間は、過去から現在に至るまで地球上のさまざまな地域で、言語をはじめとする文化や科学技術を創造し、政治、経済、教育などの諸社会組織を発展させてきました。人間と文化と社会を理解するためには、時間軸と空間軸の上に現代社会を位置づけ、マクロからミクロに至る多次的なアプローチが必要です。

高校での学習は、その後の人生を「よく生きる」ためのものです。本学部志望者には、高校において文科系の科目はもちろん理数系の科目まで幅広く、同時にどん欲に深く学習することを望みます。

さまざまな領域や場で、リーダーが求められています。人間の思考や行動、表現に強い関心を持ち、意欲と能力と個性に富んだ皆さんが志望することを期待します。

◆ 理学部

理学部は、基礎科学の分野を研究対象として、主に自然界の原理や法則の追究を行うところです。女子大学の数少ない理学部として、知的好奇心溢れる女性を受け入れ、次世代のリーダーあるいは中核となる人材を育成し、社会に輩出することを目指しています。

本学部志望者には、高校において、理系科目(数学、理科〔物理、化学、生物〕)を学び、論理的思考力を身につけるようにすること、及び、自然科学の基礎知識を習得しておくことはもちろんのこと、文系科目(英語、国語、社会)も幅広く履修し、筋道の立った文章が書けることなどが望まれます。

◆ 生活科学部

生活科学部は、人間生活における人間と環境との関係について、多角的な視点から見つめ直し、真にバランスの取れた人間の生活とは何かを探究する学部です。自然科学、人文科学、社会科学の3つの視点から、多面的に問題を考える姿勢を養うことが必要とされます。生活科学部では、それぞれの専門を深めるばかりでなく、文理融合の学部の特性を生かして、他の専門分野にも関心を持ち、多面的で総合的な視点から現実の人間生活の問題に取り組む力を持った、社会の多方面で活躍できる女性リーダーを育成することを目指しています。

高校における全ての科目が、大学での勉強に必要な基礎となりますので、志望学科の別を問わず、家庭科、芸術科、保健体育を含め、オールラウンドの学力を身につけておくことを期待します。

II 入学者選抜方法

お茶の水女子大学では、総合的な教養と高度な専門性を身につけたグローバル女性リーダーを養成することを教育目標とし、「総合的な教養（教養知）」「高度な専門性（専門知）」「実践力（実践知）」「グローバル・リーダーシップ」の4つを学習目標として掲げています。リーダーとは、自ら考え、判断し、行動し、多様性をみとめ、協働できる人です。

4つの学習目標を達成する基盤となる力として、「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・多様性・協働性」の3つの要素を、多面的・総合的に評価します。

1. 一般選抜 前期日程

大学入学共通テストでは、高校で修得すべき幅広い基礎知識と基本的な思考力を評価します（5～6教科）。個別学力検査では、専門分野の内容を理解し、さらに掘り下げるために必要な教科について（文系では外国語、国語または数学、理系では外国語、数学、理科）、知識と思考力・表現力を評価します。なお、芸術・表現行動学科では、実技検査によって、入学後の専門科目に必要な能力を判定します。

外国語（英語）では、ある程度の長さの英語の文章について、語句や文法に関する基礎的知識を見るときともに、和訳や説明などの設問、またその他の応用的設問を通じ、文脈を含む内容の理解度を測ります。また、英語による要約や説明を求める問題も出題します。

国語（現代文・古文・漢文）では、読解の基本となる基礎的知識を問うと共に、長い文章の論旨や構造を素早く的確に読み取る思考力、またそれを的確に記述する表現力を測ります。それに加えて、提示された問題に対して、自分の経験・知識をもとに主体的な論述を展開する力も求めます。

数学では、基礎学力を試す標準的な問題とともに、自分で数式を立てる能力や、さらに思考能力を広く試す問題も出題します。答えがあっているかどうかだけではなく、筋道を明確にして、数式を使って小論文を書くつもりで答案をかけば、高い評価をうることができます。

理科（物理、化学、生物）では、基礎的な知識とともに、様々な自然現象や物質の性質を科学的視点から理解し論理的に説明できる力を判定します。また、与えられた条件から科学的思考に基づき最適な結論を導き出す力も評価します。

入学者の選抜は、以上の本学が課す大学入学共通テスト、個別学力検査、実技検査の結果及び調査書等の提出書類の内容を総合して判定します。

2. 一般選抜 後期日程

大学入学共通テストでは、高校で修得すべき幅広い基礎知識と基本的な思考力を評価します（3～5教科）。個別学力検査では、志望学科による小論文や論述試験や面接によって、基本知識をもとにした思考力、専門分野への関心、表現する力などを評価します。なお、芸術・表現行動学科（音楽表現専修プログラム）では、実技検査によって、入学後の専門科目に必要な能力を判定します。

入学者の選抜は、以上の本学が課す大学入学共通テスト、個別学力検査、面接（口述試験を含む。）、小論文、論述試験、実技検査の結果及び調査書等の提出書類の内容を総合して判定します。

	教養知	専門知		実践知
	グローバル・リーダーシップ			
	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	
一般選抜 前期日程	大学入学共通テスト、 個別学力検査、 実技検査*	個別学力検査	調査書	
一般選抜 後期日程	大学入学共通テスト、 個別学力検査、 実技検査*	文系：小論文、面接 理系：論述試験、面接	調査書、面接	

*文教育学部 芸術・表現行動学科

Ⅲ 学科のアドミッション・ポリシー

文教育学部

【人文科学科】

本学科は、人類のさまざまな歩みの中から、未来の英知につながるあらゆる現象を広く文化としてとらえる人間の知の総合学を志しています。深く幅広い知識を修得し、それらに立脚したオリジナルな問いを自ら見つけだし、必要な資料・データを粘り強く収集・整理したうえで、独自の論理を築きあげる力。勉学を続けていく場合でも、社会に出て活躍する場合でも必ず求められるこうした総合的な力を広く養成することが、本学科の目標です。

高校では、様々な教科や科目について幅広く学ぶと同時に、自分の関心を持ったテーマについて自主的に読書や調査を行うことを通じ、知的探究の面白さを経験してきてほしいと思います。いわゆる「指示待ち」型ではなく、物事を多面的に考えられる柔軟な思考力を持ち、独創的な解に到達しようとする意欲のある学生の皆さんの入学を希望します。

【前期日程】

大学入学共通テストによって、幅広い基礎的な知識・技能を身につけているかどうかを判断します(5又は6教科7又は8科目)。個別学力検査(外国語および国語または数学の2教科)によって、大学での学修に必要な不可欠な基礎的知識と思考力・表現力を評価します。

【後期日程】

より個性的な学力を見るために、大学入学共通テストの得点の高い方から順に3教科・科目を利用し(150点)、本学の試験(100点)との合計で可否を判定します。

本学の試験では、英語の課題文を読んだうえで、設問に従って論述するという小論文を出題します。この試験では英和辞書(電子式を除く。)の持ち込みを認めています。なぜなら、ここでは英文の逐語訳ができるかどうかよりも、全体の文意を的確に捉えることができるか(英語の読解力)という点を重視しているからです。加えて、発想の独創性、論理構成力、豊かで正確な文章表現力といった点が評価の対象となります。

【言語文化学科】

皆さんは学校では主として国語や外国語の授業で文学や言語に接してきました。そしてそれ以上に、生まれてから現在までの家庭生活や社会生活の中で、言葉を操る力を獲得し、心を揺さぶる文学作品に出会ってきたことでしょう。

言語文化学科での学習・研究(日本語・中国語・英語・フランス語の各言語文化圏の言語・文化・思想や交流)を通じて、皆さんは漠然とした感動や疑問を明確な言葉で表現し、さらにそれを説明、解明していく方法を学びます。その学びにより、文学、言語およびその習得の面白さや不思議さを新たに発見、追究し、幅広い教養、高度な専門性と実践力を身につけることができるでしょう。

言語文化学科では、「ことば」というものの面白さに興味を持ち、そこに何かを発見したいと思っている皆さん、洗練された語学力を身につけて広い世界へ足を踏み出そうと考える皆さん、また「文学・芸術」が好きで、ただ鑑賞するだけでなく「その先」へ進みたいと思っている皆さんを歓迎します。そのような知的行為に興味を持ち、そのための訓練に耐えられるだけの、十分な基礎学力と、旺盛な知的好奇心と、言葉への愛着を持ち、主体性と協働性を持って行動できる学生を求めます。

【前期日程】

大学入学共通テストによって、幅広い基礎的な知識・技能を身につけているかどうかを判断します(5又は6教科7又は8科目)。個別学力検査(国語および外国語の2教科)によって、大学での学修に必要な不可欠な基礎的知識と思考力・表現力を評価します。

【人間社会科学科】

人間社会科学科における、人間の発達(教育科学)、人間の意識や行動の社会的側面(社会学)、子どもが育つ環境や文化(子ども学)という3つの専門領域に共通しているのは、自分を含めた「人間」に対するあくなき好奇心です。人間に関わる諸問題を学問的に解明し、そこで得られた知識を実際に役立てていきたいと考える学生の進学を期待します。

高校ではさまざまな教科や科目について幅広く学んでください。特に、国語・英語(外国語)・数学は、大学での学修と研究にとってたいへん重要な基礎的能力を育成するのに役立つでしょう。このほか地歴・公民や理科の学習を通じて、人間について深く考える姿勢と能力を身につけた学生を歓迎します。

【前期日程】

大学入学共通テストによって、幅広い基礎的な知識・技能を身につけているかどうかを判断します(5又は6教科7又は8科目)。個別学力検査(外国語および国語または数学の2教科)によって、大学での

学修に必要な不可欠な基礎的知識と思考力・表現力を評価します。

【後期日程】

幅広い基礎的教養のほか個性的な学力を見るために、大学入学共通テストの5又は6教科に加え、小論文を採用しています。小論文では、「読み、思考し、表現する」能力などが評価の対象となります。

【芸術・表現行動学科】

本学科は、人間の芸術及び表現行動としてのパフォーマンスとその学問的研究との両方を、同時に追究しようとする貪欲な人を求めています。本学は小規模ながらも総合大学ですから、その特性を十分に利用して、「自ら」多様な可能性を切り開こうという積極的姿勢が要求されます。

本学科では、舞踊や音楽の理論と実技の双方の習得を目的とし、4年一貫で履修する専修プログラムを設け、複数プログラム選択履修制度をとっていません。受験の際に選択したコース(専修プログラム)を履修します。

〔舞踊教育学〕

本専修プログラムは、舞踊を中心にスポーツから日常動作にいたる人間の身体活動や表現について、理論と実践の両面から積極的に研究を進めることのできる、両者のバランスの取れた、エネルギッシュな人材を求めています。舞踊は高校で学ぶ全ての教科と関連していますので、幅広く学習を進めてください。その上で、保健体育、国語及び英語については特に重点的に学習し、基本的な運動能力、文章表現力、英文の読解力をきちんと身につけてきてください。

【前期日程】

大学入学共通テストによって、幅広い基礎的な知識・技能を身につけているかどうかを判断します(5又は6教科7又は8科目)。個別学力検査(外国語および国語又は数学の2教科)によって、大学での学修に必要な不可欠な基礎的知識と思考力・表現力を評価します。実技検査によって、入学後の専門科目に必要な能力を判定します。

〔音楽表現〕

音楽は人間の感性に関わるとともに、高度に知的社会的な活動であり、人間の営みに深く根づいています。本専修プログラムは、勉強も実技もきちんとやってみたい、そんな贅沢な悩みを抱えている人に開かれています。高校で学ぶ教科は全て重要ですが、音楽は言うまでもなく、英語と歴史はしっかりと身につけてきてください。

【前期日程】

大学入学共通テストによって、幅広い基礎的な知識・技能を身につけているかどうかを判断します(5又は6教科7又は8科目)。個別学力検査(外国語および国語又は数学の2教科)によって、大学での学修に必要な不可欠な基礎的知識と思考力・表現力を評価します。実技検査によって、入学後の専門科目に必要な能力を判定します。但し、実技検査全科目の平均点が6割に満たない場合は不合格となります。

【後期日程】

大学入学共通テストによって、幅広い基礎的な知識・技能を身につけているかどうかを判断します(3教科4科目)。実技検査によって、入学後の専門科目に必要な能力を判定します。但し、実技検査全科目の平均点が6割に満たない場合は不合格となります。

<各学科のプログラムの選択方法>

	主プログラム・専修プログラム
人文科学科	哲学・倫理学・美術史、比較歴史学、地理環境学、グローバル文化学
言語文化学科	日本語・日本文学、中国語圏言語文化、英語圏言語文化、仏語圏言語文化、グローバル文化学
人間社会科学科	教育科学、社会学、子ども学、グローバル文化学
芸術・表現行動学科	舞踊教育学、音楽表現(専修プログラム、受験・入学時に決定)

主プログラムを選択できる上限人数はゆるやかに設定されていますが、上限を大幅に超えた場合や各プログラムで定められた条件を満たしていない場合は、一定の方法で選考を行います。

※グローバル文化学(環)プログラム

グローバル化する現代社会の課題を、①地域研究・地域文化、②多文化交流・多文化共生、③国際関係・国際協力、という3つの領域を組み合わせることで、動的に捉え、実践的に学んでいこうというのが、グローバル文化学のコンセプトです。文教育学部の3つの学科(人文科学科・言語文化学科・人間社会科学科)のいずれの学生も、主プログラムとして選択できます(各学科の学生数の15%を上限とします)。このプログラムの学修を希望する人は、自分の関心や得意分野にそって、受験する学科を選んでください。

理 学 部

【数 学 科】

数学は、あらゆる現象の背後にある数や図形の永久に変わらない真理を追究する学問です。それを学ぶことで、魂を揺さぶる美しいものや実生活で役に立つものに出会い、また世界を見通すための厳格な論証法を身につけられると考えます。

このような観点から、数学科では主に以下のような目標を持った人を求めます。

- ・ 教師や研究者のように数学を職業としたい人
- ・ 数理的な素養を生かして社会を支える仕事につきたい人
- ・ とにかく数学に対して意欲を持って勉強したい人

受験者に求めるのは以下のことです。

- ・ 高校での数学を十分に理解し、大学での講義に必要な数学の知識を身につけている。
- ・ 文章から数学的な意味を読み取ることができる。
- ・ 自分の考えを数学的、論理的な文章に表現して相手に伝えられる。

入試問題について：

数学については、学習指導要領の趣旨を踏まえて、高等学校の生徒が教科書の中から論理的に思考して直ちに理解できる事項を出題範囲とします。

【 前 期 日 程 】

基礎学力を試すために標準的問題を多数、そして柔軟な思考能力を試す問題を少し出題します。標準的問題は、「答えが合っているかどうか」という問題を解く能力を見るだけでなく、上記のように「論理的な文章の読み書き」の能力を調べるためのものです。数学に限らないことですが、自分の考えを説明するには筋道を明確にして議論をすすめなくてはなりません。ですから、受験者は数式を使った小論文を書くつもりで答案を書けば、高い評価を得るでしょう。

【 後 期 日 程 】

大学入学共通テストのみを課しています。高校で学ぶ数学の基礎的事項を正確に理解し応用できる力、基本的な計算を確実にこなせる力を身につけているかどうかを判断するために大学入学共通テストの数学の力を重視して選考します。また、外国語で書かれた数学の文献を読む必要性や国際的にも活躍する人材の養成という趣旨を踏まえ、大学入学共通テストの外国語を選考に用います。

【物 理 学 科】

自ら考えて問題を見つけ出し、自ら考えてこれを解決する学生を希望します(もちろん、必要になれば教員の適切な助言及び指導を受けることができます)。また、豊かな人間性ととともに、他人との協調性に優れた人格が望まれ、忍耐力も必要です。

卒業後には物理学の勉学を通して培った、「物事の法則を発見しそれを応用する能力」を各方面で発揮し、社会において指導的役割を果たす女性となることを期待しています。しかしながら究極的には、「物理学を学んで生き生きと充実した人生を送ること」が最も大切と考えています。

【 前 期 日 程 】

豊かな人間性を持つ志願者を得るために、大学入学共通テストから幅広い教養を身につけているかどうかを判断します。また本学の物理の試験では、単なる公式の暗記力を見るのではなく、「物事の法則を発見しそれを応用する能力」を判定するために、様々な工夫を凝らした問題が出題されます。このような能力を発揮するためには、数理的な解析力や表現力が必須です。そのため数学の試験を課しています。

【 後 期 日 程 】

後期日程では、大学入学共通テストのみを課しています。これは、幅広い教養を身につけた学生をバランスの取れた出題問題から求めようとするものですが、物理学科のアドミッション・ポリシーに従って、物理学と数学の試験を重視しています。

【化 学 科】

化学は、原子・分子をなかだちとして自然科学のあらゆる分野と密接に関係しており、その領域は数学・物理学の理解が不可欠な分野から、さらに生物学や地球科学の知識の必須な分野まで広がっています。

したがって、化学科の志願者は、高等学校では化学のほかにこれらの基礎となる科目、特に数学・物理・生物を幅広く履修して、論理的思考力や自然科学の基礎知識をしっかりと体得しておくことが望まれます。また、英語で書かれた文献を読みこなす語学力も要求されますので、高等学校での英語の十分な学習が必要です。

入学後には、専門の学習や研究の基盤となる実験能力を養うため、学生実験を重視しています。

なお入学後、化学科専門科目では、化学及び数学Ⅲの内容を理解していることを前提に授業を行うの

で注意してください。

【前期日程】

大学入学共通テスト及び本学の個別学力検査を課しています。大学入学共通テストでは、化学を中心とした幅広い基礎知識と理解力を身につけているかどうかを判断するため、理科にウエイトを置きつつ、数学、外国語、国語などの試験も重視します。さらに、本学の個別学力検査では、化学の知識と理解力などの基礎学力ばかりでなく、筋道を立てて考える論理的な思考力や、答えに至るまでの自分の考えを正しく表現する能力も判定します。

【後期日程】

大学入学共通テスト及び本学の個別学力検査を課しています。大学入学共通テストでは、前期日程と同様に、理科にウエイトを置きつつ、数学、外国語、国語などの試験も重視します。また、本学の個別試験では、論理的思考力と科学的表現力を問う論述試験を行います。

【生物学科】

生物学では、微生物からヒトまで、多種・多様な“生き物”の複雑で多様な生命現象を研究します。そのためには、いろいろな視点から考える柔軟な思考力とそれを支える幅広い基礎知識が必要です。したがって、高校生時代を通して、理系、文系を問わず、教科科目を幅広く学び、論理的思考や知的好奇心をはぐくんでいることを希望します。また、“生き物”の複雑で多様な生命現象を観察し、“生き物”と忍耐強く対話し、自ら考え、自ら問題を見つけ、試行錯誤しながらこれを解決する意欲とパワーを持つ学生を希望します。“生き物”に関する理解と関心を深め、より豊かな知の財産を築ける人に育つことを期待しています。

【前期日程】

生物の基礎知識や考え方を判定しますが、それだけでなく、データや図形を理解する能力、それらを組み合わせて考える能力も判定します。さらに、数学、物理学、化学の論理と知識も重要と考えています。したがって、数学と物理・化学(選択)の試験を課しています。また、学年が上がるにつれて外国語の文献や本を読んだり、外国語で研究成果を発表する機会が多くなります。そのため、外国語試験を課しています。

【後期日程】

大学入学共通テスト及び本学の個別学力検査(論述試験及び面接(口述試験を含む。))を課しています。大学入学共通テストでは、科学に関する幅広い知識と考え方を身につけているかを判断するために、理科に重点を置きます。論述試験では、生命現象をさまざまな視点から解析する柔軟かつ論理的な思考力、問題提示及び問題解決能力を備えているかどうかを見ます。面接では、面接担当教員との質疑応答を通して総合的な思考力を判断します。それと同時に生物学を学ぶ意欲も重視します。

【情報科学科】

情報科学はコンピュータの出現によってその存在と価値が確かめられた「情報」とよばれる概念を、エネルギーや物質と並ぶ世界の主要な構成要素として認識し、その生成、管理、利用に関する原理を探究する新しい学問分野です。今日、その応用は自然科学や工学のみならず、社会科学や人文科学にも及んでいます。

この奥深さを理解し、これまでの成果を学びたい人、さらに今後の進展に積極的に貢献したい人にぜひ進学してきてほしいと思います。情報科学は、これまでの数理科学や自然科学の考え方を偉大な先達として独自の方法論を展開しようとしていることから、広くかつ深い理系のセンスが問われます。

情報科学を通じて21世紀の科学技術を支えるのは自分たち女性だと心底思っている人、あるいは思いたい人、あるいはそう言われて「そうなんだ」と今気づいた人を大歓迎します。なお、入学時にコンピュータを使えることは仮定しません。

【前期日程】

豊かな人間性を持つ志願者を得るために、大学入学共通テストから幅広い教養を身につけているかどうかを判断します。基本的な考え方にあるように、情報科学は奥行きが深い学問であり、高校時代には理数系全般を学んで来ることが望まれます。そのため本学の情報科学科の試験では、理科系の選択で数学、物理、化学及び生物の4つの試験から2科目を選べるようにしています。また、理系において数学は基本的な能力であり、本学科の試験でも数学を重視しています。

【後期日程】

大学入学共通テストと本学独自の数学の素養を問う論述試験を課しています。

大学入学共通テストを課すことは、幅広い教養を身につけた学生をバランスのとれた出題により求めたいという趣旨ですが、情報科学科のアドミッション・ポリシーに従って、数学、理科と外国語の点数を重視しています。また、本学独自の論述試験は情報科学を勉強するために必要となる数学の素養を持った学生を求めたいという趣旨に基づいています。

生活科学部

【食物栄養学科】

食物栄養学科は、豊かな食生活や健康な社会の実現に向けて、食物と栄養や健康に関する科学的視点と実践力を身につけた社会のリーダーとなる専門家の育成をめざしています。

本学科の教育の特徴は、管理栄養士養成課程に必要な多数の実験や臨地実習を含む長時間にわたる実験・実習が必修であることです。実験科学を基盤とした上で生活や社会との接点を重視するため、本学に入学する学生には、忍耐強く実験・実習に取り組めること、自ら考え行動できること、他者とコミュニケーションをとりながらものごとを進められることを望みます。高等学校では、理数系の基礎をしっかりと履修すること並びに生活に即した学習を重視すること、具体的には、理科については物理基礎・物理、化学基礎・化学、生物基礎・生物のうち2科目以上を、数学については数学Ⅰ・Ⅱ・A・Bを履修しておくこと、家庭科や体育などの実技科目にも積極的に取り組むことを求めます。

【前期日程】

大学入学共通テスト(5教科7科目)と本学の個別学力検査(数学、理科、外国語)において、自然科学をはじめとする幅広い基礎学力を評価します。

【後期日程】

大学入学共通テストの成績を重視します。面接では本学における勉学意欲や適性の確認、自然科学系の基礎知識に関する質問をすることもあります。面接はABC評価により、合格判定の資料とします。

【人間・環境科学科】

本学科では、「人間にとっての環境、環境にとっての人間」という視点に立ち、人間と環境の相互の働きかけを具体的に評価・設計・提案し、よりよい生活環境を創造するための研究と教育を行っています。自然科学の好きな人、人間と環境にかかわる基礎的な科学を十分に学び、深く研究してみたい人、専門家として真に健康で豊かな生活を構築するために寄与したいと考えている人を、本学科は歓迎します。志願する方は、高等学校において理数系の基礎をしっかりと履修していることを望みます。具体的には、数学については数学Ⅰ・Ⅱ・A・Bを、理科については物理基礎・物理、化学基礎・化学、生物基礎・生物、地学基礎・地学のうち2科目以上を履修しておくことを強く望みます。また数学Ⅲについては履修していることを望みます。

【前期日程】

大学入学共通テスト(5教科7科目)と本学の個別学力検査(数学、理科、外国語)において、自然科学をはじめとする幅広い基礎学力を評価します。

【後期日程】

大学入学共通テストの成績を重視します。面接では本学における勉学意欲や適性の確認、自然科学系の基礎知識に関する質問をすることもあります。面接はABC評価により、合格判定の資料とします。

【人間生活学科】

本学科では、豊かな人間生活の実現を担う人材の育成を、「生活社会科学」、「生活文化学」という相互に関連する2つのアプローチを通して追求します。①生活社会科学：地域社会から国際社会まで、多角的な社会環境を視野に入れて、家族、消費者、女性、高齢者、子ども、制度と政策の問題などの生活と社会及びその関係についての社会科学的視点から分析し、政策の立案・提言を探究します。②生活文化学：人間にとって最も身近な服飾と住居、工芸、デザインなどの生活造形を生み出し、子どもを育てきた生活文化の歴史と現在について、比較文化的・民俗学的・歴史学的・保育学的視点から考察し、理解を深めます。これらの人間生活に関わる諸課題に関心があり、問題意識と研究意欲を持っている人、錯綜する現代の生活状況の中で、人間性を重視した社会を築くために貢献したいと考えている人、潤いのある生活を実現しようという熱意を持っている人を歓迎します。本学科を志望する人は、人間生活学科の2つのアプローチを踏まえ、高等学校において地理歴史・公民などの社会科系の科目をしっかりと履修していることはもちろんのこと、英語、数学、国語をはじめ、高等学校における教科科目を偏り無く履修していることを強く望みます。

【前期日程】

大学入学共通テストによって、幅広い基礎的な知識・技能を身につけているかどうかを判断します(5又は6教科7又は8科目)。個別学力検査(外国語および国語又は数学の2教科)によって、大学での学修に必要な不可欠な基礎的知識と思考力・表現力を評価します。

【心理学科】

心理学は、人間の心理的プロセスを科学的に解明し、エビデンスに基づいて人々の生活する環境や社会の課題解決を目指す学問領域です。この目的を理解して、人間の行動と心に関する科学的な見方と深い洞察力を磨き、現代の生活環境や社会の諸問題に取り組む研究意欲のある人、心の発達や健康への心理臨床的支援を行うことで社会に貢献しようという熱意のある人の進学を歓迎します。

志望する人は、高等学校において、国語・英語（外国語）・数学をはじめ、高等学校における教科科目を偏り無く履修していることを強く望みます。

【前期日程】

大学入学共通テストによって、幅広い基礎的な知識・技能を身につけているかどうかを判断します（5又は6教科7又は8科目）。個別学力検査（外国語および国語または数学の2教科）によって、大学での学修に必要な不可欠な基礎的知識と思考力・表現力を評価します。

IV 学生募集要項（一般選抜）

1. 学部・学科別募集人員

学部	学科等	入学定員	一般選抜		特別選抜				
			前期日程 (*1) (*2) (*4)	後期日程	学校推薦型選抜	帰国子女等 (*4)	私費外国人留学生	総合型選抜 (新フンボルト入試)	
文教育学部	人文学科	55	32	11	12	若干名	若干名	文系全体で 12名 (*2)	
	言語文化学科	80	64	—(*3)	16	若干名	若干名		
	人間社会学科	40	26	4	10	若干名	若干名		
	芸術・表現 行動学科	舞踊教育学 専修プログラム	27	12	—(*3)	3	若干名	若干名	—(*5)
		音楽表現 専修プログラム		5	3	4	若干名	若干名	
計		202	139	18	45				
理学部	数学科	20	14	3	—(*6)	若干名	若干名	3	
	物理学科	20	14	3		若干名	若干名	3	
	化学科	20	15	3		—(*7)	若干名	2	
	生物学科	25	17	3		若干名	若干名	5	
	情報科学科	40	23	10		若干名	若干名	7	
	計		125	83	22			20	
生活科学部	食物栄養学科	36	31	3	—(*6)	—(*7)	若干名	2	
	人間・環境科学科	24	17	5		—(*7)	若干名	2	
	人間生活学科	39	32	—(*3)	7	若干名	若干名	文系全体で 12名 (*2)	
	心理学科	26	23	—(*3)	3	若干名	若干名		
	計		125	103	8	10		4	
合計		452	325	48	55			24	

〔注〕

- (*1) 「高大連携特別選抜」—本学附属高等学校からの学校推薦型選抜(3学部で定員10名)は、前期日程に含む。
- (*2) 文系学科(文教育学部人文学科、言語文化学科、人間社会学科及び生活科学部人間生活学科、心理学科)における「総合型選抜」の募集人員(12名)は、前期日程に含む。
- (*3) 文教育学部言語文化学科、文教育学部芸術・表現行動学科「舞踊教育学専修プログラム」、生活科学部人間生活学科、生活科学部心理学科では、前期日程のみの募集で、後期日程の募集は行わない。
- (*4) 「帰国子女等」は「帰国子女・外国学校出身者特別選抜」を表し、合格者(若干名)は、前期日程の合格者に含む。
- (*5) 文教育学部芸術・表現行動学科では総合型選抜の募集は行わない。
- (*6) 理系学科(理学部全学科及び生活科学部食物栄養学科、人間・環境科学科)は、学校推薦型選抜の募集は行わない。
- (*7) 理学部化学科、生活科学部食物栄養学科、人間・環境科学科では、帰国子女・外国学校出身者特別選抜の募集は行わない。

2. 出願資格

下記のいずれかに該当する女子で、かつ、令和5年度大学入学共通テストの本学が指定した教科・科目を受験した者

- (1) 高等学校（中等教育学校を含む。）を卒業した者及び令和5年3月卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和5年3月修了見込みの者
- (3) 学校教育法施行規則(昭和22年文部省令第11号)第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び令和5年3月31日までにこれに該当する見込みの者
- (4) 上記(1)(2)(3)に該当しない者について、大学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、18歳に達した者及び令和5年3月31日までに18歳に達する者。

令和5年度大学入学者選抜大学入学共通テスト受験案内の「出願資格と証明書類」の項を参照のこと。

なお、(4)により本学へ出願を希望するものについては33ページ「入学資格個別審査」をよく読み、事前に入試課まで申出のうえ、申請期間中に審査書類を郵送すること。

3. 出願手続

※一般選抜(前期日程・後期日程)はインターネット出願のみの受付となります。

(1) 出 願 期 間

前期日程	インターネット出願登録期間 令和5年1月20日(金)9:00～2月3日(金)8:59 郵送出願期間 令和5年1月23日(月)～2月3日(金)までに【必着】
後期日程	この期間中に、インターネット出願の登録と検定料の納入を済ませ、なおかつ出願書類が本学に到着するよう送付すること。 ただし2月2日(木)以前の発信局消印のある書留速達に限り、期限後に到着した場合でも受理する。

(2) 出 願 方 法

出願書類を一括して、必ず本学所定の出願用封筒貼付用宛名シート（インターネット出願時印刷可能）を用い、「書留速達」で下記あてに郵送すること。

[送付先]

〒112-8610 東京都文京区大塚2丁目1番1号
お茶の水女子大学入試課

インターネット出願に関しては13ページ「※インターネット出願の流れ」を参照

(3) 出 願 に つ い て

① 他の国公立大学との併願について

【前期日程】と【後期日程】において、2つの国公立大学に出願する場合は、「前期－前期」、「後期－後期」の組み合わせで併願することはできない。

② 本学の併願について

本学の【前期日程】に出願する者が、本学の【後期日程】を併願してもよい。

なお、【前期日程】と【後期日程】で志望する学部・学科が異なっても差し支えないが、【前期日程】、【後期日程】のいずれも1つの学部・学科に限る。

③ 本学又は他の国公立大学（独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。公立大学協会ホームページ (<https://www.kodaikyo.org/>) 参照。以下同じ。）の【前期日程】に合格し、令和5年3月15日(水)までに入学手続を行った者は、【後期日程】を受験してもその合格者とはならない。

また、国公立大学の分離分割方式による合格及び追加合格決定業務を円滑に行うため、氏名、高等学校コード及び大学入学共通テストの受験番号に限って、合否及び入学手続等に関する個人情報が、独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に送達される。

- ④ 本学又は他の国公立大学の総合型選抜及び学校推薦型選抜の合格者は、**本学の個別学力検査等(第2次試験)を受験してもその合格者とはならない。**
ただし、当該大学の総合型選抜及び学校推薦型選抜の入学辞退を許可された者は除く。
- ⑤ 出願書類等に不備のある場合は受理しない。また、受理後の出願書類等の変更は認めない。
- ⑥ 一旦受理した出願書類等は返却しない。

(4) 出 願 書 類 等

1	志 願 者 名 票 ・ 写 真 票	インターネット出願サイトで入力後、印刷したもの。 各学部の前期日程には「令和5年度大学入学共通テスト成績請求票」の(前用)を、各学部の後期日程には(後用)をそれぞれ所定欄に貼付すること。
2	調 査 書	出身学校長が作成し、厳封したもの。 ただし、出願資格(3)に該当する者は当該試験等の成績証明書を提出すること。 なお、指導要録の保存期間が経過した場合及び廃校・被災その他の事情により調査書が得られない場合には、卒業証明書・成績通信簿を提出すること。
3	実 技 関 係 調 査 書	インターネット出願サイトで入力後、印刷したもの。 文教育学部芸術・表現行動学科志願者のみ提出すること。
4	健 康 診 断 書	医師(学校医含む)が記入・押印したもの。 芸術・表現行動学科舞踊教育学専修プログラムに出願する者は、健康診断書(本学所定の用紙)を提出してください。健康診断書の提出は、実技検査を安全に行うために健康状況を把握するためのもので、その内容は、試験の成績には一切影響しません。(注1)
5	検 定 料 (注2)	17,000 円 (手数料別途) <u>各種支払方法については13~16ページを参照</u> ※1 第1段階選抜の不合格者に対しては、所定の手続により13,000円を返還する。(28ページを参照。2段階選抜) ※2 出願受付後に大学入学共通テスト受験科目の不足等による出願無資格者であることが判明した者に対しては、所定の手続により13,000円を返還する。(28ページを参照。無資格者の取扱いについて) ※3 上記の1及び2に該当する者は、令和5年2月17日(金)までに請求すること。
6	受 験 許 可 書	大学に在学している者は、学長・学部長・学生部長のいずれかが本学の受験を許可した証明書を提出すること。(様式は特に定めない。)

(注1) 健康診断書は、出願登録完了後にダウンロード可能になる。
また、本要項のダウンロードページからも事前ダウンロードが可能。

(注2) 払込済の検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しない。
・検定料を振り込んだが本学に出願しなかった、または出願が受理されなかった場合
・検定料を誤って二重に振り込んだ、又は多く振り込んだ場合
検定料は出願者からの返還請求に基づき返還するので、上記の返還事由に該当する場合には、令和5年2月17日(金)までに本学入試課に連絡すること。(出願した後に受験を取りやめた場合には返還事由に該当しない。)

(5) 受験上・修学上の配慮の事前相談について

- ① 本学に入学を志望する者のうち、心身に障害あるいは疾病があり、受験上の配慮を必要とする者（点字又は代筆による解答を希望する者を含む。）については、出願期間前に入試課に申し出ていただき、令和4年12月15日（木）までに「受験上の配慮事前相談申請書」「医師の診断書」等をご提出ください。なお、受験上の配慮を講じる必要はないまでも、修学上の不安等を感じる者も、同様に申し出てください。なお、以下のことについてもご留意願います。
- 1) 配慮の内容によっては、希望に添えない場合があります。
 - 2) 個別学力検査を課さない「理学部(後期日程)の数学科、物理学科」に出願する者についても、入学後の配慮について検討するため、上記に該当する者は同様に申し出てください。
 - 3) 障害等の理由をもって、合否判定の際に不利に取り扱われることはありません。
 - 4) 日常生活において、ごく普通に使用されている補聴器、松葉杖、車椅子等を使用して受験する場合も、試験場の設定等の関係から配慮事項として取り扱うこととしているので、前記と同様に申し出てください。
 - 5) 出願後の不慮の事故等のため、受験上の配慮を希望する者にも審査のうえ、上記に準じた配慮を決定しますので、この場合は至急本学入試課に連絡してください。
ただし、連絡が試験期日の直前であったり、配慮内容によっては、直ちに対応できない場合もありますのでご了承ください。

[障害の種類・程度]

障害の種類別	障害の程度
[ア] 視覚障害者	1. 点字による教育を受けている者 2. 良い方の目の矯正視力が0.15未満の者 3. 両眼による視野について視能率による損失率が90%以上の者 4. 上記以外の視覚障害者
[イ] 聴覚障害者	1. 両耳の平均聴力レベルが60デシベル以上の者 2. 上記以外の聴覚障害者
[ウ] 肢体不自由者	1. 体幹の機能障害により座位を保つことができない者又は困難な者 2. 両上肢の機能障害が著しい者 3. 上記以外の肢体不自由者
[エ] 病弱者	1. 慢性の胸部、心臓、腎臓疾患等の状態が6ヶ月以上の医療・生活規制を必要とする程度の者又はこれに準じる者
[オ] その他	[ア]～[エ]の区分以外の者で受験上の配慮を必要とする者

- ② 本学の「学ぶ意欲のあるすべての女性にとって、真摯な夢の実現の場として存在する」というミッションから、自身の性自認にもとづき、女子大学で学ぶことを希望する者を2020（令和2）年4月入学者から受け入れることとしました。戸籍又はパスポートの性別と性自認が異なっている者については、入学後の学生生活をサポートするために、通称名や更衣室の使用などについて、あらかじめ情報を提供したいと考えていますので、令和4年12月9日（金）までに必ず入試課に申し出てください。その際に、「出願申出書」及び「住民票又はパスポートの写し」等を提出していただき、出願資格等の確認をいたしますが、申出によって合否判定の際に不利に取り扱われることはありません。

[問合せ先]

〒112-8610 東京都文京区大塚2丁目1番1号
お茶の水女子大学入試課
電話 03-5978-5151, 5152

インターネット出願の流れ

出願完了までの流れは、以下の通りです



STEP

1

事前準備

以下のものをご用意ください

- ① パソコン(インターネット接続とPDF表示が可能なもの)、プリンタ
- ② 調査書、大学入学共通テスト成績請求票等の提出書類
- ③ 顔写真データ(当日に本人確認が可能な、3ヶ月以内に撮影した単身、脱帽、正面向きのもの)
- ④ 角形2号(24cm×33.2cm)の封筒(出願書類郵送用)



STEP

2

インターネット出願サイトにアクセス

インターネット出願サイト

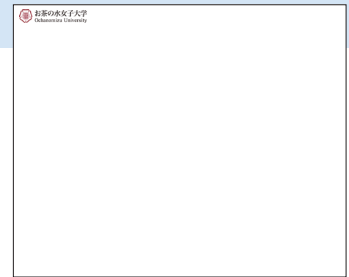
<https://e-apply.jp/ds/ocha/>

または、

大学ホームページ

<https://www.ao.ocha.ac.jp/>

からアクセス



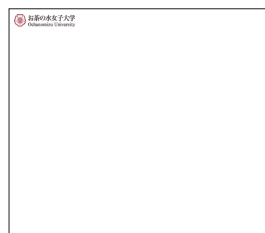
STEP

3

マイページの登録

画面の手順に従って、必要事項を入力してマイページ登録を行ってください。

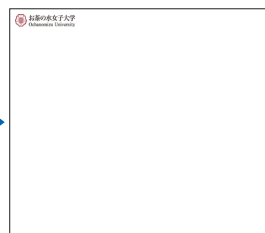
なお、マイページの登録がお済みの方は、STEP4に進んでください。



- ① 初めて登録する方は **マイページ登録** からログインしてください。



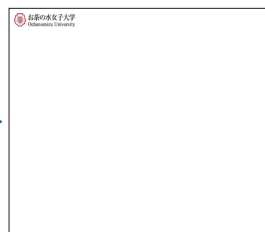
- ② メールアドレスの登録を行って **仮登録メールを送信** をクリックしてください。



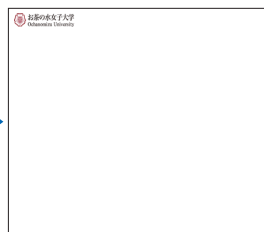
- ③ ユーザー登録画面から **ログインページへ** をクリックしてください。



- ④ 登録したメールアドレスに初期パスワードと本登録用URLが届きます。
※@e-apply.jpのドメインからのメールを受信できるように設定してください。



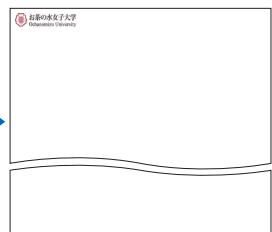
- ⑤ ログイン画面から登録したメールアドレスと④で届いた『初期パスワード』にて **ログイン** をクリックしてください。



- ⑥ 初期パスワードの変更を行ってください。



- ⑦ 表示された個人情報を入力して **次へ** をクリックしてください。



- ⑧ 個人情報を確認して **この内容で登録する** をクリックしてください。

4. 大学入学共通テストで受験を要する教科等

本学に入学を希望する者は、学校推薦型選抜及び帰国子女・外国学校出身者特別選抜への出願を除き、下表に示す令和5年度大学入学共通テストを受験していなければ、本学の個別学力検査を受験することはできません。なお、平成25年度入試より、文教育学部及び生活科学部の受験において、「公民」から科目選択する場合は、『倫理、政治・経済』のみを指定科目とし、「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」の科目は選択できなくなっておりますので、ご注意願います。

特に、*印科目の受験資格や表中の※については19ページを参照してください。

なお、本学では大学入学共通テストの過年度成績は利用しません。

◆ 文教育学部

学 科 等	選抜方法 の区分	大学入学共通テストで入学志願者に解答させる教科・科目名		受験を要する 教科・科目数
人 文 科 学 科	前期日程	国語 地歴公民 数学 理科※1 外国語	「国語」 (「世界史B」、「日本史B」、「地理B」、「倫政経」)から2科目 「数学Ⅰ・数学A」と、 (「数学Ⅱ・数学B」、「簿会*」、「情報*」)から1科目の計2科目 (「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」)から2科目又は、 (「物理」、「化学」、「生物」、「地学」)から1科目 (「英語ーリスニングテストを含むー」、「独語」、「仏語」、「中国語」、「韓国語」)から1科目	5又は6教科 7又は8科目
	後期日程	国語 地歴公民 理科※1 数学 外国語	「国語」 (「世界史B」、「日本史B」、「地理B」、「倫政経」)から1科目又は、 (「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」)から2科目又は、 (「物理」、「化学」、「生物」、「地学」)から1科目 「数学Ⅰ・数学A」と、 (「数学Ⅱ・数学B」、「簿会*」、「情報*」)から1科目の計2科目 (「英語ーリスニングテストを含むー」、「独語」、「仏語」、「中国語」)から1科目	3教科 3～5科目 }から3教科 ※2
※3 言 語 文 化 学	前期日程 のみ	国語 地歴公民 数学 理科※1 外国語	「国語」 (「世界史B」、「日本史B」、「地理B」、「倫政経」)から2科目 「数学Ⅰ・数学A」と、 (「数学Ⅱ・数学B」、「簿会*」、「情報*」)から1科目の計2科目 (「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」)から2科目又は、 (「物理」、「化学」、「生物」、「地学」)から1科目 (「英語ーリスニングテストを含むー」、「独語」、「仏語」、「中国語」、「韓国語」)から1科目	5又は6教科 7又は8科目
人 間 社 会 科 学 科	前期日程	国語 地歴公民 数学 理科※1 外国語	「国語」 (「世界史B」、「日本史B」、「地理B」、「倫政経」)から2科目 「数学Ⅰ・数学A」と、 (「数学Ⅱ・数学B」、「簿会*」、「情報*」)から1科目の計2科目 (「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」)から2科目又は、 (「物理」、「化学」、「生物」、「地学」)から1科目 (「英語ーリスニングテストを含むー」、「独語」、「仏語」、「中国語」、「韓国語」)から1科目	5又は6教科 7又は8科目
	後期日程	国語 地歴公民 数学 理科※1 外国語	「国語」 (「世界史B」、「日本史B」、「地理B」、「倫政経」)から2科目 「数学Ⅰ・数学A」と、 (「数学Ⅱ・数学B」、「簿会*」、「情報*」)から1科目の計2科目 (「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」)から2科目又は、 (「物理」、「化学」、「生物」、「地学」)から1科目 (「英語ーリスニングテストを含むー」、「独語」、「仏語」、「中国語」)から1科目	5又は6教科 7又は8科目
芸 術 ・ 表 現 行 動 学 科 ※3 舞 踊 教 育 学 専 修 プ ロ グ ラ ム	前期日程 のみ	国語 地歴公民 数学 理科※1 外国語	「国語」 (「世界史B」、「日本史B」、「地理B」、「倫政経」)から2科目 「数学Ⅰ・数学A」と、 (「数学Ⅱ・数学B」、「簿会*」、「情報*」)から1科目の計2科目 (「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」)から2科目又は、 (「物理」、「化学」、「生物」、「地学」)から1科目 (「英語ーリスニングテストを含むー」、「独語」、「仏語」、「中国語」、「韓国語」)から1科目	5又は6教科 7又は8科目
芸 術 ・ 表 現 行 動 学 科 音 楽 表 現 専 修 プ ロ グ ラ ム	前期日程	国語 地歴公民 数学 理科※1 外国語	「国語」 (「世界史B」、「日本史B」、「地理B」、「倫政経」)から2科目 「数学Ⅰ・数学A」と、 (「数学Ⅱ・数学B」、「簿会*」、「情報*」)から1科目の計2科目 (「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」)から2科目又は、 (「物理」、「化学」、「生物」、「地学」)から1科目 (「英語ーリスニングテストを含むー」、「独語」、「仏語」、「中国語」、「韓国語」)から1科目	5又は6教科 7又は8科目

	後期日程	国語 数学	「国語」 「数学Ⅰ・数学A」と、 (「数学Ⅱ・数学B」、「簿会*」、「情報*」)から1科目の計2科目	3教科
		外国語	(「英語ーリスニングテストを含むー」、「独語」、「仏語」、「中国語」)から1科目	4科目

◆ 理学部

学科等	選抜方法の区分	大学入学共通テストで入学志願者に解答させる教科・科目名		受験を要する教科・科目数
数 学 科	前期日程	国語 地歴公民 数学 理科 外国語	「国語」 (「世界史A」、「世界史B」、「日本史A」、「日本史B」、「地理A」、「地理B」、「現社」、「倫理」、「政経」、「倫政経」)から1科目 「数学Ⅰ・数学A」と、 (「数学Ⅱ・数学B」、「簿会*」、「情報*」)から1科目の計2科目 (「物理」、「化学」、「生物」、「地学」)から2科目 (「英語ーリスニングテストを含むー」、「独語」、「仏語」)から1科目	5教科 7科目
	後期日程	数学 理科 外国語	「数学Ⅰ・数学A」と、 (「数学Ⅱ・数学B」、「簿会*」、「情報*」)から1科目の計2科目 (「物理」、「化学」、「生物」、「地学」)から2科目 (「英語ーリスニングテストを含むー」、「独語」、「仏語」)から1科目	3教科 5科目
物 理 学 科	前期日程	国語 地歴公民 数学	「国語」 (「世界史A」、「世界史B」、「日本史A」、「日本史B」、「地理A」、「地理B」、「現社」、「倫理」、「政経」、「倫政経」)から1科目 「数学Ⅰ・数学A」と、 (「数学Ⅱ・数学B」、「簿会*」、「情報*」)から1科目の計2科目	5教科 7科目
	後期日程	理科 外国語	「物理」と、 (「化学」、「生物」、「地学」)から1科目の計2科目 「英語ーリスニングテストを含むー」	7科目
化 学 科	前期日程	国語 地歴公民 数学	「国語」 (「世界史A」、「世界史B」、「日本史A」、「日本史B」、「地理A」、「地理B」、「現社」、「倫理」、「政経」、「倫政経」)から1科目 「数学Ⅰ・数学A」と、 (「数学Ⅱ・数学B」、「簿会*」、「情報*」)から1科目の計2科目	5教科 7科目
	後期日程	理科 外国語	「化学」と、 (「物理」、「生物」、「地学」)から1科目の計2科目 「英語ーリスニングテストを含むー」	7科目
生 物 学 科	前期日程	国語 地歴公民 数学	「国語」 (「世界史A」、「世界史B」、「日本史A」、「日本史B」、「地理A」、「地理B」、「現社」、「倫理」、「政経」、「倫政経」)から1科目 「数学Ⅰ・数学A」と、 (「数学Ⅱ・数学B」、「簿会*」、「情報*」)から1科目の計2科目	5教科 7科目
	後期日程	理科 外国語	「生物」と、 (「物理」、「化学」、「地学」)から1科目の計2科目 「英語ーリスニングテストを含むー」、「独語」、「仏語」から1科目	7科目
情 報 科 学 科	前期日程	国語 地歴公民 数学	「国語」 (「世界史A」、「世界史B」、「日本史A」、「日本史B」、「地理A」、「地理B」、「現社」、「倫理」、「政経」、「倫政経」)から1科目 「数学Ⅰ・数学A」と、 (「数学Ⅱ・数学B」、「簿会*」、「情報*」)から1科目の計2科目	5教科 7科目
	後期日程	理科 外国語	(「物理」、「化学」、「生物」、「地学」)から2科目 (「英語ーリスニングテストを含むー」、「独語」、「仏語」)から1科目	7科目

◆ 生活科学部

学科等	選抜方法の区分	大学入学共通テストで入学志願者に解答させる教科・科目名		受験を要する教科・科目数
食 物 栄 養 学	前期日程	国語 地歴公民 数学	「国語」 (「世界史B」、「日本史B」、「地理B」、「倫政経」)から1科目 「数学Ⅰ・数学A」と、 (「数学Ⅱ・数学B」、「簿会*」、「情報*」)から1科目の計2科目	5教科 7科目
	後期日程	理科 外国語	(「物理」、「化学」、「生物」)から2科目 (「英語ーリスニングテストを含むー」、「独語」、「仏語」、「中国語」)から1科目	7科目

人間・環境科学	前期日程	国語 地歴公民 数学	「国語」 (「世界史B」、「日本史B」、「地理B」、「倫政経」)から1科目 「数学Ⅰ・数学A」と、 (「数学Ⅱ・数学B」、「簿会*」、「情報*」)から1科目の計2科目	5教科
	後期日程	理科 外国語	(「物理」、「化学」、「生物」、「地学」)から2科目 (「英語ーリスニングテストを含むー」、「独語」、「仏語」、「中国語」)から1科目	7科目
※3 人間生活学	前期日程のみ	国語 地歴公民 数学 理科※1 外国語	「国語」 (「世界史B」、「日本史B」、「地理B」、「倫政経」)から2科目 「数学Ⅰ・数学A」と、 (「数学Ⅱ・数学B」、「簿会*」、「情報*」)から1科目の計2科目 (「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」)から2科目又は、 (「物理」、「化学」、「生物」、「地学」)から1科目 (「英語ーリスニングテストを含むー」、「独語」、「仏語」、「中国語」)から1科目	5又は6教科 7又は8科目
※3 心理学科	前期日程のみ	国語 地歴公民 数学 理科※1 外国語	「国語」 (「世界史B」、「日本史B」、「地理B」、「倫政経」)から2科目 「数学Ⅰ・数学A」と、 (「数学Ⅱ・数学B」、「簿会*」、「情報*」)から1科目の計2科目 (「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」)から2科目又は、 (「物理」、「化学」、「生物」、「地学」)から1科目 (「英語ーリスニングテストを含むー」、「独語」、「仏語」、「中国語」)から1科目	5又は6教科 7又は8科目

○ 教科・科目名の表記

地歴公民⇒「地理歴史・公民」、 現社⇒「現代社会」、 政経⇒「政治・経済」、 倫政経⇒「倫理, 政治・経済」
簿会⇒「簿記・会計」、 情報⇒「情報関係基礎」

○ *印科目の受験資格

大学入学共通テストの「簿記・会計」、「情報関係基礎」を選択できる者は、高等学校において、これらの科目を履修した者及び専修学校の高等課程修了(見込み)者に限る。

○ 「地理歴史・公民」及び「理科」の各試験時間において2科目を受験する場合、試験時間の前半に受験した科目を“第1解答科目”、後半に受験した科目を“第2解答科目”とする。

○ 「地理歴史・公民」で1科目のみ配点する学部・学科において、2科目を受験した場合は、“第1解答科目”として受験した科目の成績を用いる。

「理科」で1科目のみ配点する学部・学科において、2科目を受験した場合は、“第1解答科目”として受験した科目の成績を用いる。

○ 大学入学共通テストにおいて、本学が指定する教科、科目を受験していない者(指定された教科・科目を第1解答科目として受験していない者も含む。)は出願無資格者とし、本学の個別学力検査を受験することはできないので、十分注意すること。

※1 理科において、「基礎を付した科目」2科目(理科①)と「基礎を付していない科目」1科目(理科②)の両方を受験している場合は、いずれか高得点の成績を用いる。

※2 文教育学部人文科学科の後期日程の大学入学共通テストでは、『「国語」、「地理歴史・公民、理科」、「数学」、「外国語」』から3教科を受験するものとする。

なお上記「地理歴史・公民、理科」のうち、理科の選択科目は、物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎の4科目の中から2科目、又は物理、化学、生物、地学の4科目の中から1科目のいずれかとする。

また、「地理歴史・公民」又は「理科」で1科目を選択する場合は、“第1解答科目”を当該教科の成績とした上で、指定した教科の範囲内で4教科以上受験した場合は、高得点の順に3教科の成績を用いる。

※3 言語文化学科、芸術・表現行動学科、舞踊教育学専修プログラム、人間生活学科、心理学科は後期日程の募集は行わない。

5. 本学の入学試験

(1) 個別学力検査日

【前期日程】

学 部	検 査 日	備 考
文教育学部	令和5年2月25日(土)・26日(日)	26日(日)は芸術・表現行動学科実技検査のみ
理 学 部	令和5年2月25日(土)・26日(日)	
生活科学部	令和5年2月25日(土)・26日(日)	26日(日)は食物栄養学科、人間・環境科学科のみ

【後期日程】

学 部	検 査 日	備 考
文教育学部	令和5年3月12日(日)	
理 学 部	令和5年3月12日(日)	数学科、物理学科は個別学力検査を課さない。
生活科学部	令和5年3月12日(日)	

(2) 個別学力検査教科・科目等

本学に入学を希望する者は、大学が指定する教科、科目等を全て受験しなければなりません。

◆ 文教育学部

学 科 等	選抜方法 の区分	出題教科等	出題科目(出題範囲)
人 文 学 科	前期日程	国語 数学 外国語	国語総合・現代文B・古典B } から1 数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B } コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ
	後期日程	小論文(英和辞典(電子式を除く)持込可)	
※1 言 語 文 化 学 科	前期日程 のみ	国語 外国語	国語総合・現代文B・古典B コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ
人 間 社 会 学 科	前期日程	国語 数学 外国語	国語総合・現代文B・古典B } から1 数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B } コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ
	後期日程	小論文	
※1 芸 術 ・ 表 現 行 動 学 科 舞 踊 教 育 学 専 修 プ ロ グ ラ ム	前期日程 のみ	国語 数学 外国語 実技	国語総合・現代文B・古典B } から1 数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B } コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ 舞踊実技検査 ※2
芸 術 ・ 表 現 行 動 学 科 音 楽 表 現 専 修 プ ロ グ ラ ム	前期日程	国語 数学 外国語 実技	国語総合・現代文B・古典B } から1 数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B } コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ 音楽実技検査 ※2
	後期日程	実技	音楽実技検査

※1 言語文化学科及び芸術・表現行動学科舞踊教育学専修プログラムは、後期日程の募集は行わない。

※2 (前期日程) 芸術・表現行動学科の2日目は、実技検査を行う。

◆ 理学部

学 科	選抜方法 の区分	出題 教科等	出題科目（出題範囲）
数 学 科	前期日程	数学 理科 外国語	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B 物理基礎・物理、化学基礎・化学、生物基礎・生物 から1 コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ
	後期日程	個別学力検査は課さない	
物 理 学 科	前期日程	数学 理科 外国語	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B 物理基礎・物理 コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ
	後期日程	個別学力検査は課さない	
化 学 科	前期日程	数学 理科 外国語	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B 化学基礎・化学と、 物理基礎・物理、生物基礎・生物 から1 コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ
	後期日程	論述試験	
生 物 学 科	前期日程	数学 理科 外国語	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B 生物基礎・生物と、 物理基礎・物理、化学基礎・化学 から1 コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ
	後期日程	論述試験 面接（口述試験を含む）	
情 報 科 学 科	前期日程	数学 数学・理科 外国語	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B 数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B、物理基礎・物理 化学基礎・化学、生物基礎・生物 から2 コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ
	後期日程	論述試験	

◆ 生活科学部

学 科	選抜方法 の区分	出題 教科等	出題科目（出題範囲）
食 物 栄 養 学 科	前期日程	数学 理科 外国語	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B 物理基礎・物理、化学基礎・化学、生物基礎・生物 から1 コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ
	後期日程	面接	
人 間 ・ 環 境 科 学 科	前期日程	数学 理科 外国語	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B 物理基礎・物理、化学基礎・化学、生物基礎・生物 から1 コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ
	後期日程	面接	
※ 人 間 生 活 学 科	前期日程 のみ	国語 数学 外国語	国語総合・現代文B・古典B } から1 数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B } コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ
※ 心 理 学 科	前期日程 のみ	国語 数学 外国語	国語総合・現代文B・古典B } から1 数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B } コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ

※ 人間生活学科及び心理学科は、後期日程の募集は行わない。

〔注〕（3学部共通）

- 1 数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学Aは、全範囲から出題する。数学Bについては、「数列」「ベクトル」を出題範囲とする。
- 2 「物理基礎・物理」については、物理基礎、物理の全範囲から出題、「化学基礎・化学」については、化学基礎、化学の全範囲から出題、「生物基礎・生物」については、生物基礎、生物の全範囲から出題する。

(3) 試験教科・科目別配点 (全学部共通事項)

大学入学共通テストの外国語「英語」については、リーディング(100点)とリスニング(100点)の合計得点を1:1の比率を変えず各学科等の配点に圧縮して換算する。

ただし、リスニング免除者を除く。

【前期日程】【文教育学部】 大学入学共通テストにかかる詳細は17～19ページを参照。

試験区分		大学入学共通テスト					本学の試験					合計
教科・科目等		国語	地歴 公民	数学	理科	外国語	*2 国語	*2 数学	外国語	実 技	計	
人 文 科 学 科			400	*1			(200)	(200)	200	—	400	800
言 語 文 化 学 科			400	*1			200	—	200	—	400	800
人 間 社 会 科 学 科			400	*1			(200)	(200)	200	—	400	800
芸術・表現 行動学科	舞踊		400	*1			(100)	(100)	100	200	400	800
	音楽		400	*1			(200)	(200)	200	*3	400	800

〔注〕

*1 大学入学共通テストは、国語 200 点、地理歴史・公民 200 点(地理歴史から 1、公民から 1 の計 2 科目又は、地理歴史から 2 科目のいずれかの組み合わせ)、数学 200 点(2 科目の合計点)、理科 100 点、外国語 200 点の合計点 900 点に 9 分の 4 を掛けて 400 点満点に換算する。

*2 人文科学科、人間社会科学科、芸術・表現行動学科は、本学の試験「国語、数学」から 1 教科選択。

*3 芸術・表現行動学科「音楽表現専修プログラム」の実技は、実技検査全科目(各科目 100 点満点)の平均点が 60 点未満若しくは 50 点未満の科目がある場合、不合格となる。

【前期日程】【理学部】 大学入学共通テストにかかる詳細は17～19ページを参照。

試験区分		大学入学共通テスト					本学の試験							合計		
教科・科目等		国語	*1 地歴 公民	*2 数学	*2 理科	外国語	計	数学 *3			理科 *3				外国語	計
学科等			数学 共通	数学 専門	数学			物理	化学	生物						
数 学 科		50	25	50	50	50	225	100	200	—	(100)	(100)	(100)	100	500	725
物 理 学 科		25	25	50	50	100	250	100	—	100	200	—	—	50	450	700
化 学 科		100	50	100	100	100	450	100	—	—	(100)	200	(100)	100	500	950
生 物 学 科		50	50	100	100	100	400	100	—	—	(100)	(100)	200	100	500	900
情 報 科 学 科		100	50	100	50	100	400	200	—	(100)	(100)	(100)	(100)	100	500	900

〔注〕

*1 大学入学共通テスト「地理歴史・公民」から 1 科目選択

*2 大学入学共通テスト「数学」及び「理科」はそれぞれの教科の 2 科目の合計点とする。

*3 数学科、化学科、生物学科は本学の試験「理科」のうち配点に()をつけたものから 1 科目選択、情報科学科は本学の試験「数学・理科」のうち配点に()をつけたものから 2 科目選択。

【前期日程】【生活科学部】 大学入学共通テストにかかる詳細は17～19ページを参照。

試験区分		大学入学共通テスト					本学の試験						合計
教科・科目等		国語	*1 地歴 公民	*2 数学	*3 理科	外国語	計	*4 国語	*4 数学	理 科	外国語	計	
食 物 栄 養 学 科		100	50	100	150	100	500	—	200	100	200	500	1000
人 間 ・ 環 境 科 学 科		100	50	100	150	100	500	—	200	100	200	500	1000
人 間 生 活 学 科		100	150	100	50	100	500	(250)	(250)	—	250	500	1000
心 理 学 科		100	100	100	100	100	500	(250)	(250)	—	250	500	1000

〔注〕

*1 食物栄養学科、人間・環境科学科は大学入学共通テスト「地理歴史・公民」から 1 科目選択。

人間生活学科、心理学科「地理歴史・公民」は、地理歴史から 1、公民から 1 の計 2 科目、又は地理歴史から 2 科目選択。

*2 大学入学共通テスト「数学」は 2 科目の合計点とする。

*3 食物栄養学科、人間・環境科学科の大学入学共通テスト「理科」は 2 科目の合計点とする。

*4 人間生活学科、心理学科は本学の試験「国語、数学」から 1 教科選択。

【後期日程】【文教育学部】

大学入学共通テストにかかる詳細は 17～19 ページを参照。

試験区分 教科・科目等	大学入学共通テスト						本学の試験			合計
	国語	地歴公民	*5 数学	理科	外国語	計	小論文	実技	計	
人 文 科 学 科*1	(50)	(50)	(50)	(50)	(50)	150	100	—	100	250
人 間 社 会 科 学 科*2	100	100	100	50	100	450	100	—	100	550
芸 術 ・ 表 現 行 動 学 科*3	100	—	100	—	200	400	—	*4	—	400

[注]

- *1 人文科学科は、大学入学共通テスト「国語」、「地理歴史・公民、理科から1」、「数学」、「外国語」から3教科・科目を選択。人文科学科の本学の試験「小論文」は、英語文の短い論文をもとに日本語で論述する。なお、英和辞典(電子式を除く)の持ち込みを認める。
- *2 人間社会科学科の後期日程の大学入学共通テストのうち、「地理歴史・公民、理科」の各教科の選択科目については、「地理歴史から2科目と理科」、又は「地理歴史から1科目と公民の計2科目と理科」とする。なお、理科の選択科目は、物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎の4科目の中から2科目、又は物理、化学、生物、地学の4科目の中から1科目のいずれかとする。
- *3 芸術・表現行動学科「舞踊教育学専修プログラム」は、前期のみで後期の募集は行わない。
- *4 芸術・表現行動学科「音楽表現専修プログラム」の実技は、実技検査全科目(各科目100点満点)の平均点が60点未満若しくは50点未満の科目がある場合、不合格となる。
- *5 大学入学共通テスト「数学」は2科目の合計点とする。

【後期日程】【理学部】

大学入学共通テストにかかる詳細は 17～19 ページを参照。

試験区分 教科・科目等	大学入学共通テスト						本学の試験		合計
	国語	*1 地歴 公民	*2 数学	*2 理科	外国語	計	論述 試験	面接 (口述試験 を含む)	
数 学 科	—	—	400	50	50	500	—	—	500
物 理 学 科	50	50	200	200	100	600	—	—	600
化 学 科	100	50	100	200	100	550	100	—	650
生 物 学 科	25	25	50	100	50	250	200	100	550
情 報 科 学 科	100	50	400	200	250	1000	200	—	1200

[注]

- *1 大学入学共通テスト「地理歴史・公民」から1科目選択。
- *2 大学入学共通テスト「数学」及び「理科」はそれぞれの教科の2科目の合計点とする。

【後期日程】【生活科学部】

大学入学共通テストにかかる詳細は 17～19 ページを参照。

試験区分 教科・科目等	大学入学共通テスト						本学の試験	
	国語	*1 地歴 公民	*2 数学	*2 理科	外国語	合計	面接	
食 物 栄 養 学 科	50	50	200	200	200	700	*3	
人 間 ・ 環 境 科 学 科	50	50	200	200	200	700	*3	

[注]

- *1 大学入学共通テスト「地理歴史・公民」から1科目選択。
- *2 大学入学共通テスト「数学」及び「理科」はそれぞれの教科の2科目の合計点とする。
- *3 本学の試験「面接」は、ABC評価により合格判定の資料とする。

(4) 入学試験時間割

【前期日程】

学部・学科等		日時	令和5年2月25日(土)	
文 教 育 学 部	人 文 科 学 科	国語・数学(選択) 10:00~11:40	外国語 13:00~14:40	
	言 語 文 化 学 科	国語 10:00~11:40		
	人 間 社 会 科 学 科	国語・数学(選択) 10:00~11:40		
	芸 術 ・ 表 現 行 動 学 科 「舞踊教育学専修プログラム」 「音楽表現専修プログラム」			
理 学 部	数 学 科	数学共通 10:00~11:40	外国語 13:00~14:40	
	物 理 学 科			
	化 学 科			
	生 物 学 科			
	情 報 科 学 科			
生 活 科 学 部	食 物 栄 養 学 科	数学 10:00~11:40	外国語 13:00~14:40	
	人 間 ・ 環 境 科 学 科	国語・数学(選択) 10:00~11:40		
	人 間 生 活 学 科			
	心 理 学 科			

学部・学科等		日時	令和5年2月26日(日)	
文 教 育 学 部	人 文 科 学 科	実技検査 10:00~		
	言 語 文 化 学 科			
	人 間 社 会 科 学 科			
	芸 術 ・ 表 現 行 動 学 科 「舞踊教育学専修プログラム」 「音楽表現専修プログラム」			
理 学 部	数 学 科	数学専門・選択(物理、化学、生物) 10:00~13:00		
	物 理 学 科	数学・物理 10:00~13:00		
	化 学 科	化学・選択(物理、生物) 10:00~13:00		
	生 物 学 科	生物・選択(物理、化学) 10:00~13:00		
	情 報 科 学 科	選択(数学、物理、化学、生物) 10:00~13:00		
生 活 科 学 部	食 物 栄 養 学 科	選択(物理、化学、生物) 10:00~11:30		
	人 間 ・ 環 境 科 学 科			
	人 間 生 活 学 科			
	心 理 学 科			

【後期日程】

学部・学科等		日時	令和5年3月12日(日)
文 教 育 学 部	人 文 学 科	小 論 文	10:00 ~ 12:00
	人 間 社 会 学 科	小 論 文	10:00 ~ 11:30
	芸 術 ・ 表 現 行 動 学 科 「音楽表現専修プログラム」	実 技 検 査	10:00 ~
理 学 部	数 学 科	個別学力検査は課さない。	
	物 理 学 科	個別学力検査は課さない。	
	化 学 科	論 述 試 験	10:00 ~ 11:30
	生 物 学 科	論 述 試 験	10:00 ~ 11:30
	情 報 学 科	論 述 試 験	10:00 ~ 11:30
生 活 学 部	食 物 栄 養 学 科	面 接	10:00 ~
	人 間 ・ 環 境 学 科		

(5) 実技検査

芸術・表現行動学科「舞踊教育学専修プログラム」志願者に次の検査を行う。

1 必須課題

舞踊・スポーツに必要な身体支配能力をみるための基礎運動

2 舞踊課題

下記の①と②を行う。

①既成作品：モダンダンス、バレエ、日本舞踊、民族舞踊、マイム、新体操などの表現領域から作品を自由に選択し、1分以内に演じる。自作・他作どちらでも可。

<使用する音源について>

- ・使用する音源は予め CD-R に録音(書き込み)し、持参すること。
- ・使用する CD-R には、受験番号と氏名を記入すること。
- ・音出しに関する受験者からのリクエストには対応できない。

<録音(書き込み)に関する注意事項>

- ・CD-R への録音(書き込み)は WAV や AIFF、MP3、WMA などのファイルを記録する「データ CD 形式」ではなく、一般の音楽 CD と同じ「オーディオ CD (CD-DA) 形式」で行うこと。
- ・パソコンではなく CD レコーダーで録音する場合は、最後に必ずファイナライズをすること。ファイナライズをしていない CD-R は他の機器では再生不可能。
- ・録音(書き込み)をした CD-R は、必ずラジカセやミニコンポなど複数の CD プレーヤーで再生できることを確認の上、持参すること。

②創作：課題は当日提示する。

・実技検査に持参するもの

- ① 体育館シューズ (全受験者)
 - ② 各自課題に必要な服装 [ゼッケン (縦 15cm×横 20cm の白布に本学の受験番号を記入したもの) を前面に縫い付ける]、用具、靴等
 - ③ 音源
- ・「舞踊課題」の試験場の床はリノリウムである。松脂の使用は不可。また、タップダンスなどで底の硬い靴を使用する場合は、こちらで用意した 2m 四方の板の上で行う。
 - ・「舞踊課題」の試験場の高さは 2m76cm と低いとため、新体操等での手具を投げる演技は不可。
 - ・大学ホームページ 舞踊教育学専修プログラム内「入試 実技に関する Q&A」を参照のこと。

芸術・表現行動学科「音楽表現専修プログラム」志願者に次の検査を行う。

- 1 ソルフェージュ：以下の a、b を実施する。
 - a. 聴音(単旋律と2声体、及び4声体の和声)
 - b. 新曲視唱
- 2 演奏課題：以下の a、b、c を実施する。
 - a. 声楽：イタリア古典歌曲(原語)の中から任意の1曲を演奏すること。[注]
 - b. ピアノ：以下の①と②をこの順番で演奏すること。
 - ①音階(ハノン 39 番に準拠。全調より当日抽選によって各自の課題調(長調とその平行調)を決定。長調は繰り返しなし、短調は和声的・旋律的音階を各1回演奏すること。)
 - ② J. S. バッハの《インヴェンション》又は《シンフォニア》から任意の1曲
 - c. 以下の①又は②のいずれかを選択すること。
 - ① 声楽：日本歌曲又は、アリア(原語・原調)か外国歌曲(原語)の中から任意の1曲を演奏すること。
 - ② ピアノ：ベートーヴェンのピアノソナタの中から任意の1曲の第一楽章を演奏すること。

☆注意点

- ・演奏実技は、全て暗譜で行うこと。
- ・声楽の演奏実技(a、及び、c①)について：受験者は必ず伴奏用楽譜を提出すること。
- ・楽譜には氏名を明記し、出願書類と共に送付すること。なお、伴奏用楽譜は返却しない。
- ・声楽試験に用いるピアノ伴奏用楽譜の製本は次の要領により整えること。
- ・大学ホームページ 音楽表現専修プログラムページ内「実技検査に関するQ&A」を参照のこと。

①楽譜の大きさは、1 ページ縦 30cm×横 22cm 又は A 4 縦とする。②楽譜は、声部、歌詞及びピアノ伴奏部が記載されていること。③楽譜は伴奏者が見やすく、扱いやすくするために画用紙程度の台紙に貼りつけて折本仕立てにして、各ページを全開できるように製本すること。

1 頁目	2 頁目	3 頁目	4 頁目
			...

楽譜のつなぎ目をテープ等で留める

[注]

パリゾッティ版に準拠。

6. 入学者の選抜方法

(1) 入学者の選抜

入学者の選抜は、本学が課す令和5年度大学入学共通テスト、個別学力検査、面接（口述試験を含む。）、小論文、論述試験、実技検査の結果及び調査書等の提出書類の内容を総合して合格者を判定する。

(2) 選抜方式

本学の一般選抜の個別学力検査等は分離・分割方式とし、【前期日程】と【後期日程】に分けて実施する。ただし、文教育学部言語文化学科及び芸術・表現行動学科舞踊教育学専修プログラムと、生活科学部人間生活学科及び心理学科では、【前期日程】のみで実施する。

(3) 2段階選抜

入学志願者が募集人員を大幅に上回り、本学の個別学力検査等を適切に実施することが困難な場合は、第1段階選抜を行い、その合格者に対して本学の個別学力検査等を行う。

① 第1段階の選抜方法

本学各学部の定める「大学入学共通テストで受験を要する教科等」の各教科・科目の得点（本学が定める配点、22～23 ページに記載。）や調査書の内容により、【前期日程】では募集人員の約6倍、【後期日程】では募集人員の約10倍を、第1段階選抜の合格者とする。

② 2段階選抜を実施しない学部・学科

理学部（後期日程）数学科、物理学科、化学科

③ 第1段階選抜の実施の有無及び実施の結果について

第1段階選抜の実施の有無及び実施した場合の選抜の結果は、次の日時に本学南門掲示板に掲示する。

令和5年2月14日（火）正午
（前期日程・後期日程共通）

また、インターネットの入試課ホームページでも情報をお知らせします。

入試課ホームページURL：
<https://www.ao.ocha.ac.jp/>

- ・ 実施しない場合：個別に通知は行わない。
- ・ 実施した場合：合格とならなかった者には「選抜結果通知書」及び「検定料返還請求書」用紙を郵送する。前期日程・後期日程ともに、2月16日（木）を過ぎても到着しないときは、入試課へ問い合わせること。

(4) 無資格者の取扱いについて

大学入学共通テストにおいて、本学が指定する教科・科目（17～19 ページ）を受験していない者（指定された教科・科目を第1解答科目として受験していない者も含む。）は、出願無資格者とし、本学の個別学力検査を受験することはできない。この場合「検定料返還請求書」用紙を郵送する。

(5) 個別学力検査等の受験について

受験の際は、「お茶の水女子大学受験票」及び「大学入学共通テスト受験票」を必ず持参すること。なお、「大学入学共通テスト受験票」は入学手続の際にも必要となるので、受験後も紛失しないよう保管しておくこと。

(6) 個人情報及び試験成績の利用について

- ① 大学が取得した氏名、生年月日、住所、成績及び学修状況等の個人情報は、入学後の教務関係（学籍、修学指導等）、学生支援関係（学生証の発行、健康管理、授業料減免、奨学金の選考等）及び授業料等に関する業務を行うために必要な範囲内で利用します。
- ② 入学者選抜に用いた試験成績等の個人情報は、入試の改善や志願動向の調査・分析及びこれらに付随する業務を行うために必要な範囲内で利用します。

7. 合格発表

【前期日程】

令和5年3月9日（木）正午

本学南門掲示板に合格者の「受験番号」を掲示する。

【後期日程】

令和5年3月20日（月）正午

本学南門掲示板に合格者の「受験番号」を掲示する。

合格者には、発表当日、登録した住所に「合格通知書」及び「入学手続関係書類」を速達で郵送する。また、各日程の合格発表と同時に、入試課ホームページにも合格者の受験番号を掲載する。

なお、不合格者への通知は行わない。

入試課ホームページURL： https://www.ao.ocha.ac.jp/
--

〔注〕電話等による合否の問合せには一切応じない。

8. 入学手続等

入学手続は入学手続書類の郵送により行う。

手続方法についての詳細は、合格者に送付する入学手続関係の案内に記載されている。

(1) 入学手続期間

学部	日程	入学手続受付期間
文教育学部 理学部 生活科学部	前期日程	令和5年3月10日(金) から 3月15日(水) 必着
	後期日程	令和5年3月22日(水) から 3月26日(日) 必着

〔注〕所定の期日までに手続をしない者は、入学を辞退したものと取り扱う。

(2) 留意事項

本学に入学手続を完了した後に、これを取り消して他の国公立大学に入学手続をすることはできない。

(3) 手続事項

必要書類	令和5年度の「お茶の水女子大学受験票」及び「大学入学共通テスト受験票」
入学料	282,000円（予定額）
授業料	年額535,800円〔半期分267,900円〕（予定額） 〔注1〕前期分の授業料を上記手続期間中に納入しないときは、4月1日から5月31日までの間に納入することになる。 〔注2〕入学手続完了者が3月31日までに入学を辞退した場合には、納入した者の申出により当該授業料相当額を返還する。 〔注3〕授業料の納入については、希望により前期分の納入の際に後期分も合わせて納入することができる。 〔注4〕入学時及び在学中に授業料改定が行われた場合に、改定時から新授業料が適用されるので留意すること。

9. 追加合格の通知

入学手続締切期日後、募集人員に欠員が生じた場合には、令和5年3月28日（火）以降に合格者の追加を行う。

- (1) 追加合格者への通知は電話で行うので、本学からの連絡が確実に受けられるようにしておくこと。
- (2) 入学手続等については、この要項「8. 入学手続等」に準ずるが、手続期間等については追加合格の通知（電話）を行う際に連絡する。

なお、合格者の追加を行うか否かについては、インターネットの入試課ホームページでお知らせします。

10. 「大学案内」の請求について

(1) テレメールで請求する方法

下記 URL・QR コードからテレメールのサイトにアクセスし、ガイダンスに従ってお届け先等を登録してください。

<https://telemail.jp>



資料請求番号(QRコードの場合は入力不要)

大学案内	562372
------	--------

- * 17時30分までの受付は当日発送、17時30分以降は翌日発送となります。ただし、発送開始日前に請求された資料は予約受付となり、発送開始日に一斉に発送されます。なお、発送開始日は変更になる場合があります。
- * 資料は通常、発送日のおおむね3～5日後にお届けできます。ただし、土曜・日曜・祝日の配達はありません。お届け地域や郵便事情によっては一週間ほどを要する場合があります。
- * 資料請求終了時及び受付確認メール内に表示される10桁の「受付番号」は、資料到着まで保管しておいてください。
- * 随時発送の資料が1週間以上経っても届かない場合は、テレメールカスタマーセンターまでお問い合わせください。予約受付の資料が発送開始日を1週間過ぎても届かない場合、資料の完成遅れや在庫不足等の理由により発送開始日が変更になっていることがあります。なお、土曜・日曜・祝日の配達はありませんので、お急ぎでない場合は翌配達日のお届けを確認したうえで、お問い合わせください。
- * 料金は、お届けした資料に同封されている料金支払い用紙の支払い方法に従いお支払いください。
- * 料金のお支払い方法は「コンビニ支払い」「スマホアプリの請求書支払い（LINE Pay 請求書支払い、PayPay 請求書支払い、au PAY 請求書支払い）」「ケータイ払い」「クレジットカード払い」がご利用になれます（別途手数料が必要です）。

テレメールに関するお問合せ先

テレメールカスタマーセンター
IP 電話 050-8601-0102
(9:30~18:00)



(2) その他の請求方法

返信用封筒を本学に送付して、折り返し請求していただく、入試課事務室で直接お受け取りいただくことも可能です。詳しい請求方法等については、下記 URL をご確認ください。

URL: <https://www.ao.ocha.ac.jp/application/howto/index.html>

11. 入試課ホームページについて

インターネット・ホームページで次の情報をお知らせします。

入試課ホームページURL： https://www.ao.ocha.ac.jp/
--

- (1) 出願状況（各学部の学科別志願倍率等）
令和5年1月23日(月)～2月3日(金)
- (2) 第1段階選抜の実施の有無
【前期日程・後期日程】令和5年2月14日(火) 正午
- (3) 追加合格の実施の有無
令和5年3月26日(日) 20時頃を予定

V 入学試験成績等の開示について

本学の令和5年度一般選抜(前期日程・後期日程)の個人成績等の開示については、次のとおり行います。

1. 入学試験個人成績の開示について

令和5年度一般選抜の個人成績を、受験者本人からの請求に基づき開示します。

(1) 開示内容

令和5年度一般選抜の個人別成績の開示内容は、22～23ページの配点表に示す各学科ごとの点数(換算後の大学入学共通テストの合計点と、個別学力検査の点数)について、該当する段階別評価と併せてお知らせします。段階別評価は、第1段階選抜時及び最終選抜時の総合順位に基づき表示します。

(2) 請求者

受験者本人に限ります。(代理人による請求は認めません。)

(3) 請求方法

インターネット出願登録時に、開示希望の有無及び通知先住所を選択・入力してください。(14ページ「ステップ4出願内容の登録」参照)

(4) 手数料

1件につき500円を検定料と同時にお振り込みください。前期日程・後期日程の両方を請求した場合は2件となります。

(5) 開示方法

令和5年5月以降に受験者本人へ郵送します。

2. 注意事項

(1) 成績開示申請は、出願登録時にのみ受け付けます。それ以降の申請及び変更は受け付けません。

(2) 通知書は令和5年5月以降に郵送しますので、通知先住所はその時期に確実に郵便物を受け取れる住所(実家等)を入力してください。

(3) 大学入学共通テストにおいて、本学が指定する教科・科目を受験していない者(出願無資格者)、第1段階選抜不合格者、個別学力検査を受験しなかった者(後期日程理学部数学科、物理学科を除く)には、開示しません。

(4) 払込済の手数料は、いかなる理由があっても返還しません。

3. 学科ごとの合格者合計点について

令和5年度一般選抜の学科ごとの合格者合計点(大学入学共通テストと個別学力検査等の合計点)の最高点・最低点・平均点については、入試課ホームページに掲載します。

ただし、前期日程・後期日程のそれぞれについて学科ごとの合格者数が10名以下の学科及び実技又は面接を課している学科は掲載しません。

Ⅵ お茶の水女子大学入学資格個別審査について

令和5年度一般選抜（前期日程・後期日程）に係る本学入学資格審査を次のとおり行います。
（入学資格個別審査の対象者については、10ページの「2. 出願資格」の項目を参照ください。）

1. 審査内容、審査方法（審査のめやす）

令和5年3月末までに18歳に達する（達している）女子で、次の項目（審査のめやす）のいずれかに該当する者について、申請書類の書面審査を行います。（10ページ参照。）

また、本学では志望学部・学科にかかわらず、大学全体で審査を行います。

- (1) 3年以上の教育施設での学習（見込みの者を含む。）、または、社会での実務経験等を有する者。
 - ① 3年以上の教育施設での学習は、組織的な教育により、相当の授業時間の教育が行われるものであること。
 - ② 実務経験等については、本学の教育目的、教育課程に照らし、ふさわしいものであること。
- (2) 大学の科目等履修生として在籍中の者、または、在籍していた者。
- (3) その他、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者。

2. 申請期間（前期日程・後期日程とも）

7月審査—令和4年7月5日（火）～7月8日（金）必着（終了しました。）

1月審査—令和5年1月10日（火）～1月12日（木）必着

必ずこの期間内に本学に到着するように郵送してください。

3. 審査に必要な書類（申請書類）

- (1) 入学資格審査申請書（本学所定様式）
学習歴、社会での実務経験等を記入してください。科目等履修生は当該欄も記入してください。
- (2) 学習歴の証明書、又は、社会での実務経験等がわかるもの等
・学習歴の証明書は学校側で作成した卒業（見込）証明書等とします。
・大学の科目等履修生は、単位修得（見込）証明書を提出してください。
- (3) 上記1(1)①に該当する教育施設に通学している者は、その学校の学校案内、学則、カリキュラムがわかるもの等、卒業に必要な総授業時数、卒業に必要な普通科目の総授業時数等がわかるものを必ず提出してください。
- (4) 入学資格審査申請理由書（本学所定様式）
※上記1(1)①及び1(2)に該当する申請者は提出する必要はありません。
※記入に当たっては、必ず、次の内容を記入してください。
・中学校を卒業後、本学の資格審査申請までの間にどのようなことをしてきたか。
・どのような理由をもって、高校卒業者と同等以上の学力があると認められると考えているか。
・本学でどのようなことを学びたいか。
- (5) 返信用封筒（審査結果を通知するため。）
住所、氏名、郵便番号を明記し、779円分（普通郵便84円＋速達260円＋書留料金435円）の切手を貼った長形3号（235mm×120mm）封筒。

4. 申請手続方法

- (1) 入学資格審査申請書及び申請理由書（本学所定様式）は本学入試課ホームページに掲載しておりますので、そちらを印刷して使用してください。ホームページから入手できない場合は、34ページの問合せ先までご連絡ください。
入試課ホームページ URL <https://www.ao.ocha.ac.jp/>
- (2) 申請書類を一括して、本学入試課宛に書留速達で郵送してください（34ページ「6. 申請書の請求、申請書類の提出及び問合せ先」を参照）。
また、封筒の表には「入学資格審査申請書在中」と朱書きしてください。

5. 審査結果の通知方法

- (1) 7月審査—8月上旬までに文書で通知する。
- (2) 1月審査—審査終了後、ただちに文書で通知する。
なお、入学資格が認められた場合は、出願時に本学学生募集要項に記載されている出願書類のほか、この通知（認定書）のコピーも提出してください。

6. 申請書の請求、申請書類の提出及び問合せ先

〒112-8610 東京都文京区大塚2丁目1番1号

お茶の水女子大学入試課

電話 03-5978-5151, 5152

VII 令和6年度一般選抜に関する変更の予告

○共創工学部（仮称）新設に伴う入学者選抜の変更（予定）について

お茶の水女子大学では、令和6年（2024年）4月に「共創工学部（人間環境工学科、文化情報工学科）（仮称）」新設を計画しています。【設置構想中】

この新設学部・学科の入学定員は、現行の文教育学部、理学部、生活科学部の一部学科の入学定員を移行するものです。

1. 入学定員

○現行

学部	学科	入学定員
文教育学部	人文科学科	55
	言語文化学科	80
	人間社会科学科	40
	芸術・表現行動学科	27
	計	202
理学部	数学科	20
	物理学科	20
	化学科	20
	生物学科	25
	情報科学科	40
	計	125
生活科学部	食物栄養学科	36
	人間・環境科学科	24
	人間生活学科	39
	心理学科	26
	計	125
合計		452

○新設後

学部	学科	入学定員
文教育学部	人文科学科	50
	言語文化学科	73
	人間社会科学科	37
	芸術・表現行動学科	25
	計	185
理学部	数学科	20
	物理学科	20
	化学科	20
	生物学科	24
	情報科学科	36
	計	120
生活科学部	食物栄養学科	36
	人間・環境科学科	-
	人間生活学科	39
	心理学科	26
	計	101
共創工学部 (仮称)	人間環境工学科 (仮称)	26
	文化情報工学科 (仮称)	20
	計	46
合計		452

⇒

2. 募集人員

共創工学部（仮称）の募集人員は以下のとおりです。

学部	学科	入学定員	募集人員					
			一般選抜		特別選抜			
			前期日程	後期日程	学校推薦型選抜	帰国子女・外国学校出身者特別選抜(*1)	私費外国人留学生特別選抜	総合型選抜（新フンボルト入試）
共創工学部 （仮称）	人間環境工学科 （仮称）	26	19	5	-	若干名	若干名	2
	文化情報工学科 （仮称）	20	14	-	6	若干名	若干名	若干名(*2)

(*1) 「帰国子女・外国学校出身者特別選抜」の合格者(若干名)は前期日程に含む。

(*2) 文化情報工学科(仮称)における「総合型選抜」の募集人員(若干名)は前期日程に含む。

新設計画は、文部科学省大学設置・学校法人審議会の審査結果によって確定するものであり、変更の可能性があります。

新設学部・学科の入学選抜方法の詳細は、確定次第順次公表します。大学ホームページ、令和5年度発行の入学選抜要項（7月下旬発行予定）や各種学生募集要項等で、必ずご確認ください。

○入学定員の変更について

文教育学部人間社会科学科は、教育科学・子ども学コースが幼稚園・小学校教員養成の課程として入学者を独自に選抜するため、令和6年(2024年)4月に入学定員の変更を予定しています。

○現行

学部	学科	入学定員
文教育学部	人間社会科学科	40

○変更後

学部	学科	入学定員
文教育学部	人間社会科学科 (教育科学・子ども学コース)	37 (25)

⇒

入学定員のカッコ内は教育科学・子ども学コースの内数

※1 人間社会科学科では、令和6年度開設の教職課程認定申請を予定しています。文部科学省における審査の結果、予定している教職課程の開設時期等が変更となる可能性があります。

※2 人間社会科学科では、教育科学主プログラム、社会学主プログラム、子ども学主プログラム、グローバル文化主プログラムを開設していますが、教育科学・子ども学コース入学者は教育科学主プログラムまたは子ども学主プログラムだけを選択することができます。それ以外の人間社会科学科入学者は、社会学主プログラムまたはグローバル文化主プログラムだけを選択することができます。教育科学主プログラム選択者は小学校教員免許を取得できます。子ども学主プログラム選択者は幼稚園教員免許を取得できます。グローバル文化主プログラム選択者以外の方は中学校（社会）・高等学校（公民）の教員免許を取得することができます。

○一般選抜（後期日程）出題教科・科目、配点の変更について

理学部生物学科では、令和6年度（2024年度）一般選抜（後期日程）において、論述試験の廃止を予定しています。

論述試験に代えて、面接（口述試験を含む）において、論理的思考力や問題解決能力を備えているか、総合的な理解力があるかを判断します。なお、生物学を学ぶ意欲も重視します。

○現行

試験区分	大学入学共通テスト						本学の試験		合計
教科・科目等 学科等	国語	地歴 公民	数学	理科	外国語	計	論述 試験	面接 (口述試験を含む)	
生 物 学 科	25	25	50	100	50	250	200	100	550

↓

○変更後

試験区分	大学入学共通テスト						本学の試験		合計
教科・科目等 学科等	国語	地歴 公民	数学	理科	外国語	計		面接 (口述試験を含む)	
生 物 学 科	25	25	50	100	50	250	(廃止)	250	500

VIII その他の案内

◆奨学金、入学料減免、授業料減免、学生寮等

1. 奨学金

(本学 HP から情報が見られます)

本学独自の奨学金として“みがかずば”奨学金(予約型奨学金)、学部生成績優秀者奨学金があります。“みがかずば”奨学金は、お茶の水女子大学へ入学を希望する受験者に対して、入学後の生活の目処をたてていただくことを目的としたものです。入試出願前に奨学金を申請していただき、内定した方は入試合格・入学後に所定の手続をとることで、奨学生として採用されます。なお、理工系分野を志望する者を対象とした予約型奨学金「小澤美奈子奨学金」について新規に募集する予定ですので、申請手続等を本学HPにてご確認ください。

学部生成績優秀者奨学金は、学部1・2年次から引き続き在学する本学学部3年生(中途に休学期間がない者に限る。)のうち、1・2年次の成績等が特に優秀と認められた者に授与されます。

他に本学に設置された保育所を利用する学生に保育料の一部を援助する育児支援奨学金があります。これらを希望する者は、学生・キャリア支援課(Tel.03-5978-5148)に照会してください。

人物・学業ともに優秀でかつ経済的理由により修学に困難があると認められる者には選考のうえ、日本学生支援機構から奨学金が給付・貸与されます。現在、給付奨学金、第一種奨学金(無利子)及び第二種奨学金(有利子)の3種類があります。新たに給付・貸与を希望する者は4月中に募集を行いますので学生・キャリア支援課に照会してください。また、入学前に「採用候補者決定通知」(貸与型、給付型問わず)の交付を受けた方は、入学後速やかに学生・キャリア支援課に提出してください。

外国人留学生の奨学金については、国際課(Tel.03-5978-5143)に照会してください。

2. 入学料減免と授業料減免

(本学 HP から情報が見られます)

注意事項 入学料及び授業料を納入済の者は減免・猶予の対象となりません。

(1) 入学料減免の制度と申請資格について

①入学料減免の対象者

次のa～cに該当する特別な事情により納入が著しく困難であると認められる者。

- a 入学前1年以内において、本人の学資を主として負担している者(以下「学資負担者」という。)が死亡し、または本人若しくは学資負担者が風水害等の災難を受けたことにより、入学料の納入が著しく困難であると認められる者
- b 独立行政法人日本学生支援機構の給付奨学金の給付対象となる者
- c aに準ずる場合であって、相当の事由があると認められる者

②減免額について

入学料の減免が必要と認められた者については、納入すべき入学料の全額または一部を減免します。不許可となる場合もあります。

③申請時期

一般選抜前期日程合格者の入学手続期間内(3月中旬)に所定の手続を行った者で3月中旬に所定の申請を行った者について選考をします。また、入学料徴収猶予(延納)の制度もあります。猶予については(3)を参照してください。

(2) 授業料減免の制度と申請資格について

①独立行政法人日本学生支援機構の給付奨学金の給付対象となる者

経済的理由により、授業料の納入が困難であり、かつ、学業優秀と認められる者。

②減免額について

授業料の減免が必要と認められた者については、納入すべき授業料の全額または一部を減免します。不許可となる場合もあります。

③申請時期

減免は年度を2期に分け半期分ごとに選考をします。(申請時期は3月と9月)
給付奨学生も申請が必要です。

(3) 入学料及び授業料の徴収猶予と申請資格について

①徴収猶予の対象者

経済的理由により、入学料または授業料の納入が困難であり、かつ、学業優秀と認められる者。または、次の a、b に該当する特別な事情により納入が著しく困難であると認められる者。

- a 本学学生またはその学資負担者が災害を受け、納入困難と認められる場合
- b その他やむを得ない事情があると認められる場合

②猶予期間について

入学料または授業料の徴収猶予が必要と認められた者については、9月30日まで猶予されます。(9月30日が土、日祝日の場合は、直前の平日までとなります。)

③申請時期

- ・入学料徴収猶予
一般選抜前期日程合格者の入学手続期間内(3月中旬)に所定の手続を行った者で3月中旬に所定の申請を行った者について選考をします。
- ・授業料徴収猶予
3月1日～4月10日(4月10日が土、日祝日の場合は直前の平日までとなります。)

3. 学生寮

(本学 HP の情報を確認願います。)

本学には、学部生の入居できる以下の学生寮があります。

本学ホームページには写真付きで紹介がありますので、そちらもご覧ください。

入寮申請日程については、本学ホームページをご確認願います。

施設概要

寮名称	所在地	定員	居室	食事	寮費(1か月)	対象
音羽館	お茶の水女子大学 大塚キャンパス	450人	個室	なし	賃料 48,800円 共益費 5,000円 その他光熱水費等	学部生 留学生
お茶大 SCC	文京区大塚	50人	個室 (ハス)	なし	賃料 30,000円 その他光熱水費等	学部1,2年生 (含留学生)

※賃料等は予定額であり、変動する可能性があります。

4. 入学料・授業料減免と学生寮の申請書類について

(1) 申請書の入手方法

お茶の水女子大学ホームページからダウンロードしてください。

①入学料及び授業料の減免・徴収猶予制度について

<https://www.ocha.ac.jp/campuslife/info/exemption.html>

②学生宿舎について

<https://www.ocha.ac.jp/campuslife/lodgings/index.html>

(2) 問合せ先

学生・キャリア支援課	入学料減免・授業料減免・学生寮担当
TEL	03-5978-2646
メールアドレス	gakusei@cc.ocha.ac.jp

5. アパート等の紹介

大学周辺のアパート等の情報については、いつでも学生・キャリア支援課で資料を閲覧することができますが、物件数等は必ずしも十分とはいえませんので、親戚知人等の安心できる住居を確保するよう心掛けてください。また、本学の生協も民間の業者と提携して、学生向けの物件の紹介を行っています。

○お茶の水女子大学交通案内

最寄り駅等	{ <table> <tr> <td>地下鉄 丸ノ内線</td> <td>茗荷谷駅 から 徒歩 約7分</td> </tr> <tr> <td>地下鉄 有楽町線</td> <td>護国寺駅 (5番口) から 徒歩 約8分</td> </tr> <tr> <td>都営バス</td> <td>大塚2丁目停留所前</td> </tr> </table>	地下鉄 丸ノ内線	茗荷谷駅 から 徒歩 約7分	地下鉄 有楽町線	護国寺駅 (5番口) から 徒歩 約8分	都営バス	大塚2丁目停留所前
		地下鉄 丸ノ内線	茗荷谷駅 から 徒歩 約7分				
		地下鉄 有楽町線	護国寺駅 (5番口) から 徒歩 約8分				
都営バス	大塚2丁目停留所前						

◎ J R池袋駅から

地下鉄利用の場合

丸ノ内線・池袋駅〔新宿、荻窪方面行〕——約5分——→ 茗荷谷駅 下車
 有楽町線・池袋駅〔新木場方面行〕——約4分——→ 護国寺駅 下車

都営バス利用の場合

池袋駅東口乗車〔東京ドームシティ行〕——約20分——→ 大塚2丁目停留所下車
 (都02乙系統)

◎ J R大塚駅から

都営バス利用の場合

大塚駅南口乗車〔錦糸町駅前行〕——約10分——→ 大塚2丁目停留所下車
 (都02系統)

◎ J R東京駅又はJ R御茶ノ水駅から

地下鉄利用の場合

丸ノ内線・東京駅〔池袋行〕—約5分— 御茶ノ水駅 —約6分—→ 茗荷谷駅下車



入学者選抜に関する問合せ先

お茶の水女子大学入試課

〒112-8610 東京都文京区大塚 2 丁目 1 番 1 号

電話番号 03-5978-5151・5152

FAX 03-5978-5895

E-mail nyushi@cc.ocha.ac.jp

月曜日～金曜日(祝日は除く)9時～17時

※ 問合せはできるだけ志願者本人が行ってください

入試課ホームページURL <https://www.ao.ocha.ac.jp/>